

行財政改革推進プラン（素案）

～ 自律的で創造性を発揮する行財政運営体制の確立をめざして ～

平成 26 年 9 月
大 阪 府

目 次

1. 基本方針	3
改革のめざすもの（基本的な考え方）	4
2. これまでの改革の取組み、現状認識、課題	9
(1) 改革の取組み、現状認識	10
(2) 課題	16
3. 改革の方向性	23
4. 具体的な改革の取組み	31
(1) 事業重点化（組み換え）の推進	32
① 成果重視による事業選択	32
② ストックの活用	38
(2) 総合力の発揮	41
① 行政間連携	43
(i) 国への提案の強化	43
(ii) 関西広域連合を通じた連携強化	43
(iii) 府市連携の強化	44
(iv) 市町村とのパートナーシップの強化	45
② 民間連携	49
(i) 府民・NPOとの協働の強化	51
(ii) 民間開放の推進（PPPなど）	51
(iii) 民間との新たなパートナーシップ	52
(iv) 民間が活躍できる環境の整備	57
③ 庁内連携	58

(3) 組織活力の向上	59
① 自律的な改革を支える体制の構築	61
(i) マンパワーを最大限発揮できる組織人員体制の構築	61
(ii) 能力・モチベーションの向上	62
(iii) 知的ストックの活用（ナレッジマネジメント）	63
② 業務改革の推進	65
(i) ICTの活用	65
(ii) 府民との対話・利便性の向上	71
5. 健全で規律ある財政運営の実現	73
(1) 健全財政の確保に向けた取組み	74
① 直面する3か年の収支不足への対応	74
② 健全財政に向けた中長期での取組み	77
(2) 財務マネジメント機能の強化	79
6. 主な点検項目	80
(1) 平成26年度の実施状況の点検	81
① 歳出改革	81
② 公務員制度改革	90
(2) 平成27年度以降の実施状況の点検（③・④は平成26年度の実施状況の点検を含む）	92
① 歳出改革	92
② 歳入確保	104
③ 出資法人等の改革	107
④ 公の施設の改革	122
(3) 主なプロジェクトの今後の方向性	124